

☆進路だよりは今すぐすべて目を通すとともに、必ず保護者の方に見てもらいましょう。

進路だより

2019年9月5日(木)
貝塚市立第二中学校 NO21

お知らせ 2日の案内でもお知らせしたように、「進路のしおり」は、基本的に3年生対象ですが、ご希望があれば1、2年生も販売させていただきます。申込書に記入し、代金370円を添えて担任の先生に提出して下さい。切明日9/6(金)です。

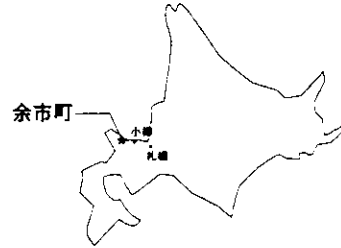
こんな学校もあるんです 全国にはさまざまな種類の高校がありますが、今回、そのうちの一つを紹介いたします。北海道の北星余市高等学校です。この高校は二中に毎年パンフレットを1冊送ってくれるのですが、あまり詳しく紹介してこなかったのが今回詳しく紹介します。

学校名 **北星余市高等学校 全日制普通科高校**

所在地 北海道余市郡余市町

経営 学校法人北星学園 (私立)

系列校 北星学園大学 大学院 短期大学部
北星学園女子高等学校 女子中学校
北星学園大学附属高等学校



寮・下宿について 男子11軒、
女子5軒から選ぶ。食事、弁当つき
ホームステイのような感じ

生徒の出身地について

都道府県別生徒数 (2019年7月現在)

北海道	87	長野	4	鳥取	0
青森	5	愛知	3	島根	1
岩手	2	岐阜	2	山口	0
宮城	3	新潟	1	愛媛	1
秋田	1	石川	0	香川	0
山形	3	富山	0	高知	0
福島	4	福井	0	徳島	0
茨城	8	三重	0	福岡	3
栃木	3	滋賀	0	宮崎	0
群馬	1	京都	1	熊本	0
埼玉	11	奈良	1	大分	0
千葉	9	和歌山	0	長崎	0
東京	22	大阪	10	佐賀	0
神奈川	19	兵庫	8	鹿児島	1
静岡	1	岡山	1	沖縄	1
山梨	3	広島	3	合計	223



私 は今2年遅れの2年生です。寮生活も2年目を終わろうとしています。

私には2年先に北星余市を卒業した双子の姉が居て、寮の話をよく聞いて、なんとなく想像がついていました。

私が入った寮は割と人数が多めのところですが、なぜそこを選んだかという私の性格上「人数が多いと楽しい」ということと「学校が何よりも近い!!」という理由でした。

1年に入学したばかりの時、私は人見知りなので一緒に入った子たちと仲良くやっていけるかなとか、規則が厳しいのかななどの不安がありました。しかし、学校生活が始まったら、同じ寮の人達や違う下宿の先輩たちに北星定番の浜やカラオケに誘われたりするなかで、自然と仲が深まってきて、自分の過去のこと、ここに居るまでの経緯についてなど、いろいろな話をお互いにしていくようになりました。

また、新入生同士も「いくつ?」から始まり、「どこから来たの?」とあって話がはずんでいて、そのなかで共通点が見つかったりします。どんな経緯でここまでたどりついたかは人それぞれだけど、最終的に皆が口をそろえて言うのが「変わりたい」という言葉でした。

私は1年生の時は、そうして楽しくなっていて、カラオケや浜に遊びに行き、寮の食事の時間やお風呂の時間も忘れるほどでした。

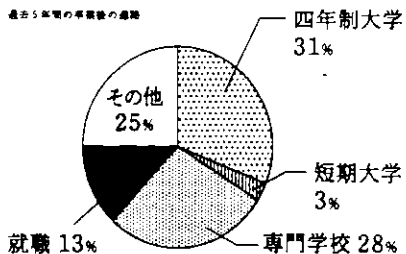
中略
土曜日や日曜日、祝日などはアルバイト組以外は、大体皆基本的に午前中寝て午後からカラオケに行ったりゲオでDVDを借りてきたり、小樽や札幌に遊びに行ったりと人それぞれです。

寮の中には大人しい子、ヤンチャな子、個性豊かな人達の集まりだからこそ、良くも悪くもお互いを知って支えあって生活し、いい方向に成長できる場であると感じています。

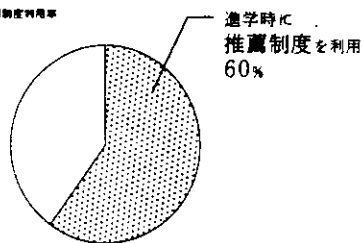
入試 (1)一般入学試験 筆記試験、面接
(2)予約面接試験 面接のみ 出願、面接は11月から3月まで 大阪市でも受験できる場合がある 下はパンフレットより、「教科指導について」

今 まで勉強してこなかった子どもが、学校の授業についていけるのでしょうか? という質問をよく受けます。はい、大丈夫ですとお答えしています。小学校から不登校だった子、勉強する意味が理解できずやる気のなかった子など、様々な年齢の生徒が入学してきます。わからないのもできないのも当たり前。わからないからこそ学ぶのです。仮に中学校の勉強がすっぱり抜けていたとしても、人より3年間遅れているだけ、人生80年のうちのたった3年です。ゆっくりじっくり学び直して力をつければ、そのうち追いつきます。必要なのは「やろう」という意思。私たちは「自分の将来のために一から頑張ろう」という意思を大切にします。わからないことを恥じる気持ちを、だから今から頑張ろうという意思に繋げればよいのです。

進学5年間の卒業後の進路



進学校の推薦制度利用率



みんなと暮らすから整う生活習慣。

「うちの子はゲームばかりして昼夜逆転している。そんな子が学校に朝から通えるのか」という相談をよく受けます。ゲームも昼夜逆転も直ります。毎日学校にへも通えるようになります。

ゲームも昼夜逆転も、その子の置かれている状況、環境によるところが大きいのです。何も目標がなく、することもない。みんなが活動している昼間ではなく、静まり返った夜だから安心して時間を過ごせる...本人はその現状を良いと思っていない。改善できない閉塞感に悩んでいる場合が多いです。状況、環境が変わったとき、子どもの行動も変わります。

寮・下宿では、管理人さんや仲間が朝起こしてくれます。「下宿にいても暇」「学校に友達がいる」「学校に行きたくない理由がない」などの理由で、自然と学校に足が向きます。それでも、ごくごく稀にゲームにハマったり、夜な夜な友達と電話することで遅刻したり、学校に来て授業中寝ていたりするケースもあります。そうした場合は、本人を中心に担任、管理人さん、親御さんと話し合って、改善策を考えます。

保護者のみなさんへ

北国での一人暮らし 安心して送り出せる理由

01 学校、寮下宿、家庭が連携

「学校で起きたことは学校の責任、それ以外で起きたことは家庭の責任」と、責任を過剰に分けることはしません。浮かない顔をした子がいたとき、学校でのことなのか、生活時間帯による幅みなのか、一見わからないことがあります。こうした場合、学校と家庭の見解が食い違い、うまく進まないことがあります。私たちは教師と寮の管理人で連携し進めるので状況把握と対処が正確に行うことができます。本校は寮と意見を交わし合い対処方法を考えます。当然親御さんの関わりもあります。一人では難しいことも「三人寄れば文殊の知恵」です。

02 「子どもを捨てた」には絶対になりません

子どもが育つ場は家庭だけにとどまりません。親御さんには本校の教育活動にしっかりと関わってもらいます。また、決して安くはない学費や寮費、生活費のために必死になってお仕事やリクリを頑張ることになります。それは全て子どもの成長のため。家から離すことが子どもを見捨てること、責任を放棄することにはなりません。

03 親もまた救われます

親御さんも救われる方が多くいらっしゃいます。一つは子どもの変化、成長によって、もうひとつは、親御さん同士がつながり始めることによって、過去の状況や悩み、本校での子どもの様子、成長を共有し、安心を得られるようになります。PTAの会合には、上級生の親御さんもいます。「うちも1年生のときはそうだった!」「それは学校に相談した方がいい」などのアドバイスがあるのです。

04 掃除・洗濯も一から丁寧に教えます

「掃除も洗濯もできないこの子を手放して良いのだろうか」「うちの子、色々と問題を抱えてるから」と迷うのが親心だと思います。でも、安心して下さい。下宿の管理人さんは10年以上のベテランばかり。悩みを聞く、問題に向き合うことも、しっかりとやってくれます。生活習慣についても、丁寧に見守り、教えてくれます。できないことを社会から教わることも、大切な学びです。

01 ギンガ寮

〒北海道上余市郡余市町栄町20-1 ☎0135-22-5266

少人数で目が届くので、細かい対応を
モットーとしています

ギンガ寮は男子寮、5名という少人数で、家庭的な寮を目指して学校と共に歩んできました。遠くから親元を離れ、知らない土地で寂しいでしょうけれど、すぐに新しい環境と生活に慣れることができるように導き、たくさんのお子さんたちを受け入れて暮らしております。

みんな明るくてアットホームな寮です。少人数ですから、一人ひとりに目を向けることができ、気持ちもわかり合い、明るく楽しく暮らしています。子どもたちを絶対に卒業させるといふ真剣な気持ちで接しています。

学校までは10分くらい、すぐ向かいにコンビニ、温泉、飲食店がある。環境も交通も便利な場所です。全国各地から北星余市高校に生徒が集まるようになってから共に歩んで25年以上の歴史があります。安心してお子さんを送り出してください。

